

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きりしま子ども発達支援センター実樹		公表日		2026年2月20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	0	・利用者に合わせて部屋を決めている。 ・利用者のことを考えて、一部屋ごとに区切られている	・道具の収納が多い。 ・物が多くなっており収納場所が少なくなっている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	1	・職員同士で情報共有し、いつでも対応できるようにしている。	・可能であれば、スタッフが急遽休みになることもあるので裏が空いてる人が決まっているとどんなときにも対応しやすいと思う	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	5		・全部の部屋がそうではない →各部屋トイレのマークなど視覚的に分かりやすく工夫しています。大きな段差はありません。靴を脱ぎ履きせずに部屋の移動が出来るようにマットを敷く工夫を行いました。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	2	・常に環境に配慮されている。利用者の人数が多い時間帯は、使いたい部屋が使えない場合もある。	・毎日清掃は丁寧に行っているが、壁紙等が剥がれていたり、ヒビが入っており心地よく過ごせるかと言われると難しい。 →部屋の利用については時間や曜日の調整を行いながらの使用になると思います。建物については建物自体が古いので、できる範囲内で補修を行っていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14	0	・可能な範囲で、記録をお互いに書いたり、片付けを協力したりしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	・必要に応じて会議もしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	・必要に応じて個人面談もしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	2	・必要な時期にアンケートを取っている。 ・今取り組んでいる最中だと思います		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	0			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	0	・会議で保護者のNeedを踏まえ、多職種で分析を重ねて、可能な限り必要に応じて個々でも情報共有しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	2			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0		・地域支援の部分は少し弱さがあると考えます
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	1	・活動後はチームでの反省を行っている。 ・グループは計画を立てているが時間がなくスタッフに周知はもう少しだと思います	・個々の裁量による。基準はないと思う。 小集団の立案は年度初めに出し合ってまとめているが活動を進めるのは個人なので情報共有や打ち合わせ等はなかなかできていない。 →年間のプログラムの設定は、スタッフと一緒に考えて立案しています。各小集団で担当が代わる事もあり、毎回のスタッフ間での打ち合わせは行っていない事もあります。今後時間を設定していけるようにしていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	4	・個々の裁量による。最近よく話し合いの場面を見る。	・しないといけないと思ながらもグループのサブも集めて皆で事前に打ち合わせはできていない。フィードバックはするように心がけているが次に個別療育が入っていると難しい。 →毎回は難しいのが現状ですが、子ども達の状況に合わせて担当を決めたり打ち合わせが必要な場合は事前の打ち合わせをするように心がけています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	2	・毎回必ずとは時間もとれないこともあるが、割とできていると思う ・必ずはできていない。なるべく振り返るようにはしているが、グループが終わったあとに集まって振り返りする時間を取れないことが多い。 ・時間は決めてないが空き時間をお互い合わせて要点を絞って話している	→グループ療育の振り返りの時間ができるときとできないときがあるので、個別で情報共有するようにはしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0			
関係機関や	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0	・移行支援シートを活用して情報共有しています。	
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	14	0			

保護者との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	14	0			
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	14	0			
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	3			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	4			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	1			・出来る範囲で行なっているが、まだ不十分だと思う。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	0				
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	3			・兄弟児支援も視野にいれていくと家族支援に繋がると思う
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	1			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	4			・改善の余地はあると思う。 ・インスタグラムがあるが情報発信の機会は少ない方だと思う。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	5			
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	1			・訓練は実施できている。周知はできていないと思う。 →マニュアルに関しても毎回訓練時に確認していきます。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	0			

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	4		<ul style="list-style-type: none"> アレルギー対応は個別で担当が把握した際に会議で話し合う時間は必要です。対応は年度により変わっています。 保護者からの申告のみに留まる。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	0		